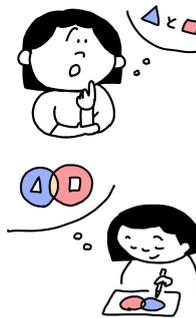


児童生徒による発表型の遠隔合同授業

<p>発表型</p>  	<p>A教室とB教室の合同遠隔授業。 今日、A教室とB教室の子どもたちが、それぞれ調べてきたことを発表します。クラスメイト以外の誰かに学んだことを伝えるというのは子どもにとって良い機会です。クラスメイトとは、経験や知っていることの共通の基盤が多くありますが、地域や国が違ってくると、必ずしもそうではありません。だからこそ、相手に丁寧に説明する必要があります。子どもたちのコミュニケーション力、メディア表現力、情報活用力、言語力を鍛える場になります。</p> <p>発表の仕方は様々ありますが、ここでは、パワーポイントや動画など資料の提示を見せながらの発表についてみていきましょう。</p> <p>テレビ会議システムは、資料を見せながら発表ができるため、情報を効率的に伝えやすい道具です。しかしながら、教室とは違い、アイコンタクトを含む身体的動作が制限されるため、相手にわかりやすく、魅力的に伝えるためには工夫が必要です。</p> <p>また、一方的に聞いているだけだと「映像を見ているみたい」となってしまいますので、双方向でコミュニケーションができる工夫も必要です。たとえば、チャットなどを利用することで、A教室とB教室の多様な意見を共有しながら授業を聞くこともできます。同じ経験をしながらも多様な意見を出し合いながらともに学ことで、同じ時間を過ごしている/共に学んでいる、という一体感も高まるのではないのでしょうか。</p>
<p>事前準備</p>	<p>X先生もY先生も授業準備をはじめました。</p> <p>【準備したもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表スライド/動画/資料 ・発表者の姿を写すカメラ/ウェブカメラ ・教室全体をみせる俯瞰カメラ/ウェブカメラ ・ワイヤレスのスピーカーとマイク ・プロジェクターとスクリーン/または電子黒板や大型モニター
<p>教室レイアウト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者が聞き手の様子を見れるようにカメラを配置する。 ※一人一台タブレット端末があればなおよい。 ・発表者の顔がアップで映し出されるように配置する <p>※Zoomであればスポットライトを使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高性能マイク兼スピーカーの設置を子どもの輪の中心におく。 ・大型モニターに映す場合、光の反射で見えない角度もあるのでブラインドの設置や設置角度を工夫する。 ・複数の端末を置くとハウリングするため、片方の端末のオーディオを切断しておく必要がある。(それは共有用などにする) ・一方的にならないように双方向で授業に参加できるように、質問したり意見を述べたりできる環境づくりが必要。



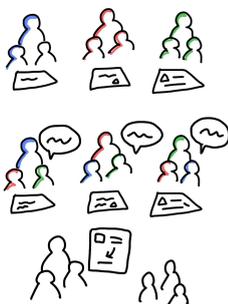
6つの帽子



思考ツールの活用



ポスターセッション



ワールドカフェ

(1) 授業開始

授業がはじまりました。

○ 聞き方についてルールを決めましょう。
 オンラインでの発表をする場合、最初のうちは、聞き方についてのルールを決めましょう！たとえば、このような3つのルールはどうでしょうか。

- ・好奇心をパフォーマンスしましょう(うなずこう)
- ・メモをとろう(チャットでつぶやこう)
- ・発表が終わったら拍手をしよう(反応マークで拍手しよう)

などです。発表者が良い発表ができるのは、聞き手の協力が不可欠です。みんな聞いてくれているな、と思うと、発表者もがんばって発表できます。

○ スライド再生/画面共有
 ・スライドなどを見せながら発表する場合、生徒自身が操作できるようにしておくことも、生徒の情報活用力育成の観点から重要です。

○ 発表者の場所
 まずは、A教室の生徒(N)の発表です。
 生徒Nは、A教室の生徒の顔が見えます。また、B教室の生徒の顔もモニターを通して見えます。教室で発表する場合、

- ・生徒が座って発表する
- ・生徒がたって発表する

のどちらかになると思います。
 教室での発表で、身体の動きがあるような発表の場合は、生徒の全身が映るようにして発表を見てもらうのもいいかもしれませんね。

(2) 授業中の工夫

○ 発表する側の工夫

- ・相手に関心を持ってもらえるような工夫
- ・相手にわかりやすく伝えるための工夫
- ・話し方・声のトーン、表情などの工夫

※関連するインプロゲーム: アップDeトーク

○ 生徒同士のインタラクションを促す工夫
 児童生徒が「聞く」だけでなく、授業に「参加」するための工夫が重要です。たとえば、こんな工夫ができます。

- ・6つの帽子(※)
- ・思考ツールの活用(※)

○ ブレイクアウトルームを使ったインタラクティブな発表
 1人の発表を最初から最後まで聞く発表だけではなく、複数人が同時に発表し、聞き手は自由にブレイクアウトを行き来しながらいろんな発表を聞く方法もあります。

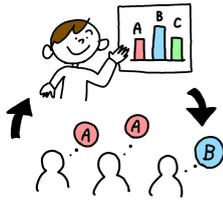
- ・ポスターセッション(※)
- ・ワールドカフェ(※)

★教師の役割
 X先生もY先生も発表型授業の場合は役割は同じです。発表しやすい環境づくりをします。それぞれの教室の様子をX先生とY先生で状況報告をしながら、双方にとってよい発表環境をつくっていきましょう。

(3) 授業のまとめ

○ Zoomがきれれば、授業が終わり。なんだか寂しい感じがします。そこで、発表型の授業の最後には、感想のシェアリングをしましょう！

- ・チャットで一人一言ずつ感想を記入して「はい」の合図で投稿
- ・発表を聞いての感想を数名に声に出して感想を言ってもらう



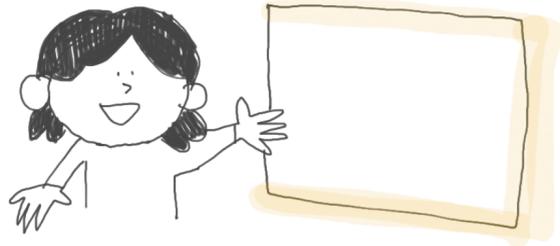
即時のフィードバック

・多様な観点からアンケート投票をするなどして、生徒ひとり一人の発表が評価される場をつくってもよいかもしれません。その場合、Google formなどをつかって、即時のフィードバック(※)ができます。

Q&A

発表型

2021.6.18



Q:一人一台端末を使った家庭からの発表型の場合、ネット環境や機器の準備等、各家庭の支援に支えられての実践であった。どのように保護者と連携して実施していくか？個別対応は大きな負担になる。

Whats up

教員のグループ
保護者人は
メールで
グループ
個別
保護者と教員
チャットなどで
非同期でリアルタイムに
やりとり
?
!
ありがとう!

保護者人は
メールで
グループ
個別
保護者と教員
チャットなどで
非同期でリアルタイムに
やりとり
?
!
ありがとう!

個別
閲覧のみにも
できます。

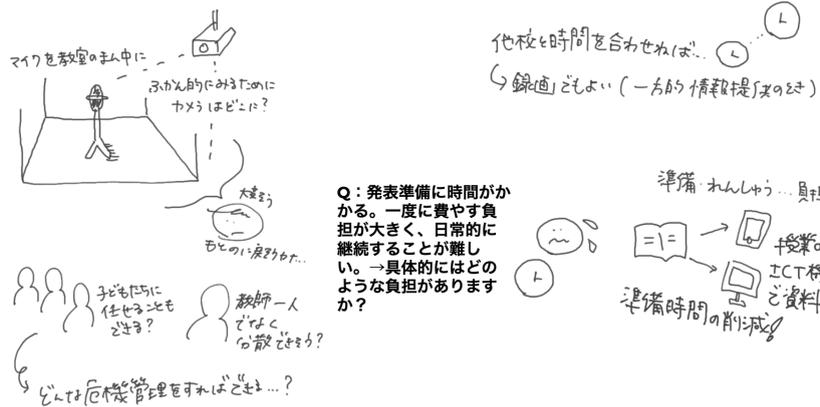
グループは
共同編集
記録残る+更新でき

6/18 → 6/19
追加
された!

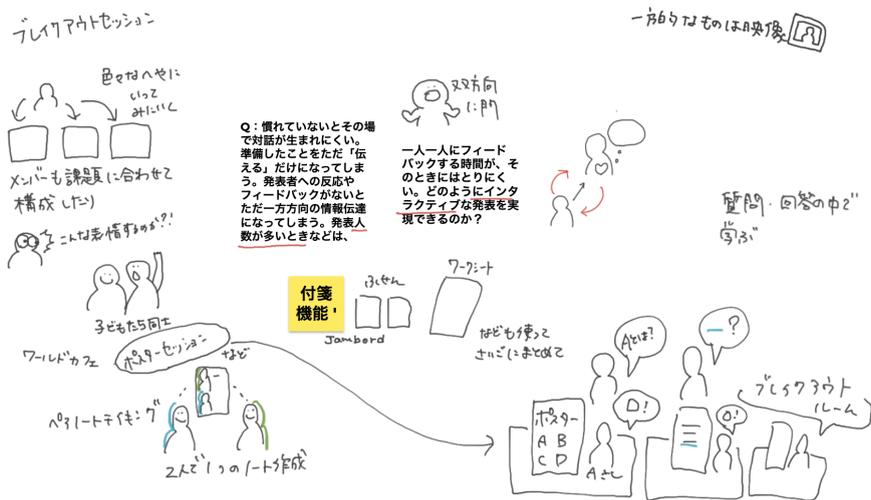
Q:一人一台端末を使った家庭からの発表型の場合、ネット環境や機器の準備等、各家庭の支援に支えられての実践であった。どのように保護者と連携して実施していくか？個別対応は大きな負担になる。

Q:発表準備に時間がかかる。一度に費やす負担が大きく、日常的に継続することが難しい。

→具体的にはどのような負担がありますか？



Q: 慣れていないとその場で対話が生まれにくい。準備したことをただ「伝える」だけになってしまう。発表者への反応やフィードバックがないとただ一方方向の情報伝達になってしまう。発表人数が多いときなどは、一人一人にフィードバックする時間が、そのときにはとりにくい。どのようにインタラクティブな発表を実現できるのか？



Q: 話し手にとっても聞き手にとっても、必要感のある発表となるよう、単元の学習問題の工夫についても検討する必要がある。何のための発表か、発表を聞く視点や面白さは何か、何のために合同で発表をするのかなど、目的をはっきりさせる必要がある。生徒にとって、遠隔合同授業だからこそやって面白い発表の特徴は何か？

Q: 全体をカメラに映す場合、一人一人の顔が小さく、「〇〇学校との交流」になってしまう、相手校の児童生徒一人一人を意識できない。どのように相手意識をもてるのか？相手のことをみながら発表ができるようになるのか？

Q: 聞いている児童生徒が、発表内容を忘れてしまうことや、誰がどの発表をしたかを忘れてしまうことがある。授業全体の流れなどがわかるようにどのように工夫ができるのか？

具体事例

【SP: 社会・総合的な学習の時間】

レポートを画面共有で発表した。クイズ形式など、聞き手も参加できる発表の形式の工夫に努めた。高学年や中学生は、聞き手が飽きない発表の仕方の工夫について考えさせることも学びの一つ。一方で低学年は、教師が聞き手に合わせた発表の仕方を教える必要もある。

	<p>【SJ: 非同期型メディアを活用した相互評価】 発表を動画にして送ることができる、時差等を考慮せずに実践することができる。各学年に応じたそれぞれの目標をしっかりと設定し、明確な目的意識をもった上で見通しをもった授業づくりを進めた。共通の問題意識をもてる課題設定・単元構成の工夫を図る。民舞などの練習の際、下級生が踊っている様子を動画で撮り、その動画を上級生に観てもらい、アドバイスを送る。動画を通じた児童同士での関わり合いが増える。</p> <p>【SJ: ルーブリックの活用】 聴く側にも聴く視点や目標を明確に設定することで、発表する側と聴く側が互いに効果的な学びを得られる。</p> <p>【RJ: 非同期型と同期型を組み合わせた授業】 発表を聞くのみならずリアルタイムにこだわらず、動画をyoutubeにアップする(視聴制限をかけて)などすれば、各校の都合の良い時間帯で視聴することが可能。</p>
--	--